




2021-22 三春ロータリークラブ テーマ
わくわく・ドキドキの三春ロータリー

Rotary  Program

1. 開会点鐘
2. ローターソング「我等の生業」
3. 四つのテストの唱和
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員会報告・その他連絡事項
7. 強調月間「米山月間」
8. 閉会点鐘

早朝の磐州通り (2021年10月9日 AM6:00)

令和3年10月7日 (木) 12:30～ 場所：割烹 八文字屋

強調月間「米山月間」プログラム例会

会長挨拶 山口 晋司

皆さまこんにちは。先日、約5年ぶりにスマートフォンを新調しました。今のスマートフォンは少し性能が良いものになると、10万円超えをしてしまいます。ほとんどの方は分割で毎月の通信料と一緒に支払ってるので、この値段の高さはあまり感じないかもしれませんが、こんな小さな端末にノートパソコン並みのお金を使っている事になります。2012年にとある機会に恵まれ、ハワイ マウイ島で三春盆太鼓を披露する事になり、僕の加入している中町太鼓保存会メンバー10数名で行かせてもらいました。渡航メンバーにはひょっとこ踊りでも有名な、橋本広司さんも一緒に楽しいマウイ島訪問ができました。僕は、太鼓演奏、三春盆踊りの踊り方講師、そしてお決まりの書道教室をおこなってきました。書道は人気があり、約200名くらいの皆様へ書道を体験してもらいました。なぜ、スマートフォンの話題からハワイになったかという、2012年にはもうすでに、iPhone等スマートフォンが自販機で売ってた事です。自販機でiPhoneが買え、好きな通信会社のsimカードまで自販機で買い、その場で通話可能・・・みたいな感じで日本とは全く違った事にびっくりしたからです。日本の場合、大手通信会社が独自の壁を作り、親切丁寧にサポートをしお客様をもってますが、国が違くと「自分責任で適当にやってください」みたいな感じです。10月から大手通信会社の販売しているスマートフォンからは、simロックが解除となり日本も携帯・スマートフォンの購入方法も少しずつ変わり、好きな通信会社で契約し、機種は電気量販店で好きな購入できるようになるような感じがします。



iPhone・スマートフォンの自動販売機



本日の
昼食



幹事報告 宗像 俊樹

1. 猪苗代湖水草回収活動
日時:10月23(土) 時間未定 場所:猪苗代湖 天神浜
2. 公共イメージ・IT委員会奉仕デーイベント
日時:10月24日(日)



 各委員会報告 橋本 国春さん

ロータリー奉仕デー実施について

1 経緯

今年度RI会長、年度中に奉仕活動を実施するようと言われた。それを受け、第2530地区では、8分区単位で実施することにした。

県中分区では、各事業のホストクラブを決めて実施している。本事業も同じくした。この事業は、三春クラブがホストクラブとなった。

過日の分区会長幹事会の結果等を踏まえ、クラブ理事会、奉仕プロジェクト委員会(増子副会長)で検討された。その過程で、二つの案が出された。



2 実施事業素案

その1 フリーマーケット

分区内会員、及び協賛者から衣料品、及び米等の食材を提供して頂き、配布する。

課題、意見

一部有料でも、集めることはできるが、誰に配布するかが問題となる。配布先(者)の基準が難しい。

その2 図書の寄贈

分区内会員、及びチラシ等で周知を図り、家庭で使用済の図書(絵本含む)等を集め、整理し児童クラブ等、小学生を対象に寄贈する。その際、予算の範囲内で新たな図書も含める。

考えられる贈呈先

①児童クラブ ②まほらっこ(地区含む) ③小学校 ④支援施設

スケジュール

①ホストクラブで実施事業案の決定 ②県中分区会長・幹事会に説明

③チラシ等での周知後、12月・1月に図書等の収集

④2月に、インターアクトクラブ等の協力を得て、寄贈できるよう整理 ⑤3月上旬に、寄贈

*この事業に対して、地区では臨時補助事業を実施すること。申請する場合、10月23日までに、申請書提出。申請は三春クラブとなる。

課題・意見

- ・町図書館巡回文庫年4回実施されていること。
- ・各地区の施設は、公民館等限られたスペースでの対応であること。
- ・図書等を受ける側の意見をどうするか。

参考 他の分区の考え、現把握では、清掃活動ではとのこと。以上が経過等です。

ご意見をお願いします。

- ①活字離れが進む中で、識字率向上にもつながる。
 - ・図書を置く場所として、必要であれば、本棚を設置してはどうか。
 - ・ロータリー文庫として、継続事業としてはどうか。
- ②ロータリーの寄贈側意見はまとまるので、受ける側の意見も聞くべきではないか。
- ③ロータリー文庫として、整備するのであれば、資材は提供できる。
- ④本棚を寄贈できる。 ⑤設置場所について、地区の意見も聞いてはどうか。

結 論 その1, その2を比べて、その2の「図書寄贈」を進めることとする。

3 今後、この事業を進める体制

奉仕プロジェクト委員会が主体となって進めることで、了承
また、分区事業であることから、検討過程から各クラブにも参加

 強調月間「米山月間」三瓶 一壽さん

今月は米山記念奨学会強調月間です。このことはすでにロータリーの友などを購読され、皆さんそれぞれに情報は得ていると思います。三春ロータリーは一昨年創立50周年を迎えることが出来ましたが、米山記念奨学会も財団になってから2017年9月で50周年を迎えており、その歴史の長さから言うとはほぼ同じような財団の歴史ををたどっております。

この財団は皆さんご承知の通り、日本が発祥であります。このことに日本のロータリアンは皆誇りを感じております。そしてこの財団は皆様の寄付で運用されており、地区における今年の寄付目標額は¥15,000/@ロータリアンであります。昨年に引き続き今年も皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、本日の予定としては、三春ロータリーは今までに2人の中国人学生のカウンセラーを引き受けております。橋本紀子さん、白岩良子さんそして影山吉則さんです。今日は橋本紀子さん(朴紅華さん・福島大学)、影山吉則さん(雷君・日本大学工学部)からそれぞれに感想を紹介させていただきます。




朴 香花 (ボク コウカ)

国籍/ 中華人民共和国
 学校名/ 福島大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻
 奨学期間/ 2008年4月～2010年3月 カウンセラー/

2008年4月～2009年3月 橋本 紀子
 2009年4月～2010年3月 白岩 良子



 バーベキュー懇親会にて



カウンセラー 橋本 紀子さん

- カウンセラーを経験して..人と人の付き合いが不通にできた。
日本も厳しいのに何故、中国との意見もある。
- 米山奨学会制度の始まりについて..米山梅吉翁の思いを東京RCが実現
- 米山学友会の話..学友が世界各国で活躍しているのは素晴らしいこと。
本当に人を育てることが出来ていると実感させられる。

米山月間に寄せて 橋本紀子

みなさん、こんにちは。私が地区の米山委員になったのは、今からおよそ15年前になります。米山記念奨学会の素晴らしさは、実際に世話クラブになりカウンセラーとなって奨学生とお付き合いする事により、実感出来るものです。

三春はそれまで世話クラブになった事が無かったので、早速申し込みました。当時は先日、来訪下さいました加藤先生が米山の委員長さんでした。福大に郡山から通学していた中国の朴香花さんをお世話くださいました。中国の人という、一般的な感覚である種の固定観念があったのですが、実際にお付き合いしてみると、私たちとそんなに変わることなく、接する事が出来ました。今の日本の若い女の子より、きめ細やかな気配りができる方でした。米山奨学生を迎えて、クラブの皆さんも米山事業を身近に感じる事が出来たと思います。

今、よく言われているのは、日本にも学費に困っている学生がいるのに何故、中国や韓国の学生を支援するのかと言う方もいらっしゃいます。米山事業は戦後、平和を守るためには軍備ではなく人を育てることが大事だ。戦争で迷惑をかけた国々に恩返しをしたいという思いから、米山梅吉さんの遺志を継いで、東京クラブが外国の学生を支援する目的で始めたものです。

現在、政治的に対立する国だからこそ、相手国の学生さんと、勉強やお付き合いの中でお互いを理解し合うことが大事なのです。米山事業の奨学生からなる学友会も台湾、中国、韓国、タイなどに有り、母国に帰ってそれぞれ活躍しています。お世話になったと毎年米山に送金してくれる学友もいます。モンゴルに帰って、学校を設立したり、日本企業が海外進出の際に、米山でお世話になったといついろ協力してくれる学友もいます。私たちの寄付金で成り立っている米山事業がこれからも

継続して発展してほしいと思います。三春クラブも又機会があったら、今度は別の国の奨学生の世話クラブになればと思います。



雷 哲宇 (レイ ジョウウイ)

国 籍/ 中華人民共和国
 学 校 名/ 日本大学 学部課程 建築学科専攻
 奨 学 期 間/ 2017年4月～2018年3月
 カウンセラー/ 影山 吉則



▲ 雷さんを囲んだお食事会



▲ 奨学金を受け取る雷さん

カウンセラー 影山 吉則さん

- 2017-18年度のカウンセラーを引き受けた。(佐久間さんがガバナー)
- 雷君は日本語が話せたので、会話には特に不自由しなかった。
- カウンセラーのセミナーを受け、日本の父親的な接し方を心がけて面倒を見た。
- 彼も卒研等で多忙な身なので2ヶ月一回程度の食事会をするなどした。
- 郡山駅前で石黒ガバナー夫妻と食事会をしたこともあった。
- この期間に修学旅行と称して米山記念館を訪問したことは思い出として残っている。
- この奨学生の選考会は相当に狭き門でここを通過した学生ですから相当に賢い人が選ばれる。
- 最後にこの奨学生制度は我々の寄付から賄われるので皆さんのご協力を改めてお願いします。

最後に

お二方にはとても書ききれないほどのお話を頂くことが出来ました。
 感謝申し上げます。

また、時間が許せば橋本紀子さん・白岩良子さんがカウンセラーを務められた時のDVDを紹介したいと思いましたが、時間いっぱいになりましたので次の機会に回します。(山口会長に準部して頂きました・会長有難うございました。)

※このように日本各地で米山奨学生制度を利用して、学友として世界各地に戻り地域の為、人類の為に活躍している人々はどんどん増えております。しかしながら世界が良くなっているという実感はなかなかわいてこないのも現実です。例えば素晴らしい学友1人が何人にその良い影響を与えることが出来るのかと考えた時、1人→1000人としても、なかなかその成果が見えてこないことを考えますと、我々ロータリアンのこのたゆまぬ努力を継続してゆく必要を感じております。どうぞ皆さんもこの奉仕活動に継続的なご協力をお願いします。